

平成29年度第4回ごみ減量化・資源化推進検討委員会 議事要旨

日時 平成30年3月26日（月） 14時30分～15時30分

場所 田川市役所本庁4階 第2委員会室

1. 開会

（会長）

今年度は11月に第1回の委員会を開催し、来年度の市のごみ減量化事業に対し、委員会としての意見を反映できるようにするため、4カ月という短期間の間に4回委員会を開催させていただきました。

なお、来年度は1年で4回の開催が予定されています。

2. 議題

議題(1) ごみ減量化・資源化の施策について（中間答申案）

（事務局）

【資料1：ごみ減量化・資源化の施策について（中間答申案） により説明】

（会長）

意見があればお願いします。

（委員全員）

中間答申案の内容で異議なし

（会長）

意見がなければ、この内容で後程、市長へ中間答申を行います。

議題(2) ごみ質分析について

（事務局）

【資料2：ごみ質分析について により説明】

（委員）

ごみ質分析の乾燥とはどのように行うのでしょうか。

（事務局）

乾燥器等でごみを乾燥させる方法です。

(会長)

来年度の視察にも関わってくるが、ごみ質の関係で、早急に現場の視察等を行う必要があるなどの意見があればお願いします。

(委員全員)

意見なし

議題(3) 段ボールコンポストについて

(事務局)

【資料3：段ボールコンポストについて により説明】

(委員)

土の温度はどの程度が適温なのでしょうか。

(事務局)

20℃程度が適温です。

(委員)

費用はいくらでしょうか。

(事務局)

ダンボールの他必要な付属品等がセットになって2,000～3,000円である。

(委員)

ごみ袋の値段を考えると、ごみとして捨てる物に2,000～3,000円もかけるのは高いと思う。段ボールは、購入しなくてもスーパー等で手に入る。

提案だが、本委員会の女性委員が段ボールコンポストを試しに試してみて、その感想等を本委員会に報告するというのはどうでしょうか。

これを普及させていくには、様々な課題がある。例えば、土の温度を上げるために、どのような生ごみを入れるかなど。一方で、生ごみを堆肥化することで臭いが少なくなるというメリットをなども整理する必要があると思います。

(会長)

本委員会の女性委員で、「段ボールコンポストを試しに使ってみたい」との申し出がありました。来年度の審議テーマである食品廃棄物の削減に関し、今後、市の補助金制度創設の検討を行う可能性もあるかと思しますので、本日現物を見せていただいた段ボールコンポスト(3つ)を市で購入して頂き、委員に提供をしていただきたいと思います。

提供後は、3～4か月程度使っていただき、その感想等の報告の他、マニュアルの作成等も検討してほしい。

(事務局)

既に委員会で説明はしましたが、古紙の回収量や生ごみ処理容器等の補助金の申請が減少している中で、これらに代わるものとして段ボールコンポストの補助制度創設を検討しています。

なお、ご要望のありました段ボールコンポストは市が購入し、女性委員へ提供します。

(会長)

段ボールコンポストについては説明しましたとおり、女性委員に使用してもらって、今後、感想等を報告してもらおうということによろしいでしょうか。

(委員全員)

異議なし。

議題(4) その他

(事務局)

次回の開催日は5月を予定しております。日程については今後調整いたします。

来年度の視察について、視察先のご要望等があれば、提案をお願いします。

3. 中間答申

4. 閉会